

平成29年8月9日付【北海道新聞（夕刊）】
北海道支部＜災害時支援で協定＞

札幌市と上下水道コンサル協

災害時支援で協定

札幌市と全国上下水道コンサルタ
ンサル協会北海道支部は7日、災害時の復旧支
援に関する協定を結んだ。
地震などで下水道施設が破
損した場合、同支部の会員
企業が被害状況調査などで
協力する。

同支部は、道内の上下水
道施設の設計や調査などを
するコンサル17社で構成。
道内自治体との協定締結は
初めてという。

市内の下水道管は総延長



災害復旧の協定を結んだ
全国上下水道コンサルタ
ント協会北海道支部の佐
藤謙二支部長（左）と札
幌市の吉岡亨副市長

8200キロと長大。下水処
理場10カ所やポンプ場17カ
所など大規模な関連施設が
多く、災害時の復旧には時
間がかかる。そのため同支
部は協定に基づき、被災施
設に急行して応急復旧に適
した工法を選んだり、本来
は市が行う災害査定資料の
作成を支援したりする。

市役所で締結式が行わ
れ、吉岡亨副市長は「顔の
見える関係になり頼もし
い」と期待。同支部の佐藤
謙二支部長は「これまで培
った技術と経験を生かした
い」と話した。

（小林史明）